

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公 開 特 許 公 報(A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2006-175224  
(P2006-175224A)

(43) 公開日 平成18年7月6日(2006.7.6)

(51) Int.Cl.  
A 4 4 B 19/26 (2006.01)  
B 6 5 D 33/25 (2006.01)

F I  
A 4 4 B 19/26  
B 6 5 D 33/25

テーマコード (参考)  
3 B 0 9 8  
3 E 0 6 4

A

審査請求 未請求 請求項の数 10 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号	特願2005-354568 (P2005-354568)	(71) 出願人	591203428 イリノイ トゥール ワークス インコー ポレイティド アメリカ合衆国, イリノイ 60025- 5811, グレンビュー, ウェスト レイ ク アベニュー 3600
(22) 出願日	平成17年12月8日 (2005.12.8)	(74) 代理人	100099759 弁理士 青木 篤
(31) 優先権主張番号	11/020,607	(74) 代理人	100092624 弁理士 鶴田 準一
(32) 優先日	平成16年12月23日 (2004.12.23)	(74) 代理人	100102819 弁理士 島田 哲郎
(33) 優先権主張国	米国 (US)	(74) 代理人	100110489 弁理士 篠崎 正海
		最終頁に続く	

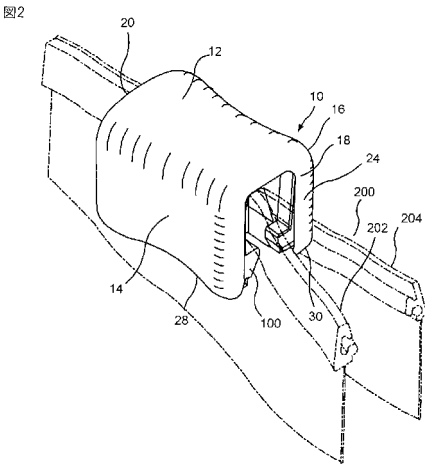
(54) 【発明の名称】 スライダー用のスリーブカバー

(57) 【要約】

【課題】本発明は、ジッパー及びスライダーとを含んでいる再閉式バッグに高圧を作用する高圧低温殺菌のような用途に使用するスライダー用のスリーブカバーに関するものである。

【解決手段】スリーブカバー（10）は、スライダー（100）に成形あるいは取り付けられていて、バッグのフィルムが、スライダー（100）とジッパーとの間のすき間を圧縮しふさぐことを、従って変形しあるいは破断することを防止するようになっている。

【選択図】図2



## 【特許請求の範囲】

## 【請求項 1】

ジッパー式のスライダー用のスリーブカバーであって、  
前記スライダーを囲んでいる側面に沿った上面と、前記側面の端部に沿って内向きにフランジの付いた下面と、を具備するジッパー式のスライダー用のスリーブカバー。

## 【請求項 2】

前記スリーブカバーの端部が開口していて、内向きにフランジの付いた端面が前記上面と前記側面とから前記端部の内側へ向けて延伸している、請求項 1 に記載のジッパー式のスライダー用のスリーブカバー。

## 【請求項 3】

前記スリーブカバーがジッパー式のスライダーをおおって成形されている、請求項 1 に記載のジッパー式のスライダー用のスリーブカバー。

## 【請求項 4】

前記スリーブカバーがジッパー式のスライダーに接着されている、請求項 1 に記載のジッパー式のスライダー用のスリーブカバー。

## 【請求項 5】

前記スリーブカバーが、前記ジッパー式のスライダーを含んでいる再閉式バッグの中味を高圧低温殺菌している間使用されている、請求項 1 に記載のジッパー式のスライダー用のスリーブカバー。

## 【請求項 6】

ジッパー式のスライダーとスリーブカバーとの組立体であって、  
前記スリーブカバーが、前記スライダーを囲んでいる側面に沿った上面と、前記側面の端部に沿って内向きにフランジの付いた下面と、を具備するジッパー式のスライダーとスリーブカバーとの組立体。

## 【請求項 7】

前記スリーブカバーの端部が開口していて、内向きにフランジの付いた端面が前記上面と前記側面とから前記端部の内側へ向けて延伸している、請求項 6 に記載の組立体。

## 【請求項 8】

前記スリーブカバーがジッパー式のスライダーをおおって成形されている、請求項 6 に記載の組立体。

## 【請求項 9】

前記スリーブカバーがジッパー式のスライダーに接着されている、請求項 6 に記載の組立体。

## 【請求項 10】

前記スリーブカバーが、前記ジッパー式のスライダーを含んでいる再閉式バッグの中味を高圧低温殺菌している間使用されている、請求項 6 に記載の組立体。

## 【発明の詳細な説明】

## 【技術分野】

## 【0001】

本発明は、ジッパー及びスライダーとを含んでいる再閉式バッグに高圧を作用する高圧低温殺菌のような用途に使用するスライダー用のスリーブカバーに関するものである。スリーブカバーは、スライダーに成形あるいは取り付けられていて、バッグのフィルムが、スライダーとジッパーとの間のすき間を圧縮しふさぐことを、従って変形しあるいは破断することを防止するようになっている。

## 【背景技術】

## 【0002】

従来技術において、フィルムおよびウェブで作られた面を備え、かつスライダー付きジッパーを含んでいる再閉式バッグは周知である。しかしながら、プラスチックフィルムあるいはウェブの耐熱性が劣るために、とくに肉の包装業界におけるバッグの消毒あるいは殺菌には問題があった。完成し中味の詰まったバッグが圧力容器の中に置かれ、約 2 . 4

10

20

30

40

50

$8 \times 10^5$  kPa (約 36,000 psi) の圧力に数分さらされる高圧低温殺菌 (HPP) には、この問題はなかった。しかしながら、高圧低温殺菌は、プラスチックフィルム又はウェブがスライダーとジッパーとの間のすき間に押し込まれ、そして変形、締め付けられあるいは破裂されるような用途において問題となる。特に、食料業界が当面している薄利状況下においては、包装の損傷の増加は重大問題である。

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0003】

従って、本発明の目的は、高圧低温殺菌中におけるフィルム又はウェブがスライダーとジッパー異形材との間のすき間に押しつけられることによる、再閉式バッグのフィルム又はウェブにおける変形、締め付け、破裂を防止することである。 10

従って、本発明のさらなる目的は、前述の目的を低コストで達成することである。

【課題を解決するための手段】

【0004】

これらの目的及び他の目的は、高圧低温殺菌に先立ってジッパー式のスライダーに成形、接着あるいは他の方法で取り付けられる中程度の柔軟さのスリーブカバーを提供することにより達成される。高圧低温殺菌中に、フィルムはスリーブカバーに押し付けられ、従って形状が変化する。スリーブカバーはスライダーとジッパーとの間のすき間をふさぎさらにスライダーのいずれのすき間をもふさぎ、フィルムがこれらのすき間の中に押し込まれることを、従って変形し破裂することを防止するようになっている。 20

【0005】

本発明のさらなる目的及び利点は、以下の説明と添付図面とから理解される。

【発明を実施するための最良の形態】

【0006】

図面を通して同一部品には同一符号が付番されている。図1は、異形材202, 204で形成されたジッパー200 (一点鎖線で図示) を備えた、従来技術におけるスライダー100の斜視図である。スライダー100と異形材200との間に高圧低温殺菌時に非常に問題となるすき間があって、他のすき間はスライダー自体に形成されている。これらの他のすき間も同様に問題となるかも知れない。

【0007】

図2は、スライダー100をおおって形成されている。中程度の柔軟さの材料製カバー10を図示している。スリーブカバー10はシリコンのような中程度の柔軟さの材料で作られていてもよい。しかしながら、当業者においては同等品を理解できるだろう。一般に消費者へ出荷する前に、スリーブカバー10は製作中にスライダー100をおおって成形されるか、又は接着剤あるいは他の取り付け方法により取り付けられる。しかしながら、ある用途においては、スライダー100へのスリーブカバー10の組立は消費者の現場で行なわれるかも知れない。 30

【0008】

スリーブカバー10は、丸味をおびた側面14, 16に滑らかに移行する、丸味をおびた上面12を含んでいる。スリーブカバー10の端部18, 20は、ジッパー200の走行を可能にするべく開口している。しかしながら、内向きにフランジの付いた面24が上面12と丸味をおびた側面14, 16とからスライダー100を囲んで延伸している。スライダー100と異形材202, 204との間のすき間をふさぐために、同様に内向きにフランジの付いた下面28, 30が、丸味をおびた側面14, 16に形成されている。肉あるいは他の食材のような中味を含んでいる再閉式バッグが高圧低温殺菌 (HPP) 装置に置かれ加圧される高圧低温殺菌に先立って、スリーブカバー10は、成形、接着又は他の取り付け方法により図2に図示するように取り付けられている。その後、スリーブカバーは輸送の前あるいは消費者によって除去される。 40

【0009】

従って、いくつかの前述の目的と利点とが最も効果的に達成されている。本発明におけ 50

る一つの好適な実施形態が詳細に開示し説明されてきたけれども、本発明を限定するものではなく、そして本発明の範囲は特許請求の範囲に規定されている。

【図面の簡単な説明】

【0010】

【図1】図1は、従来技術における典型的なスライダーの斜視図であって、ジッパーの輪郭一点鎖線で図示してある。

【図2】図2は、図1におけるスライダーをおおって装着された本発明のスリーブカバーの斜視図であって、ジッパーの輪郭は一点鎖線で図示してある。

【符号の説明】

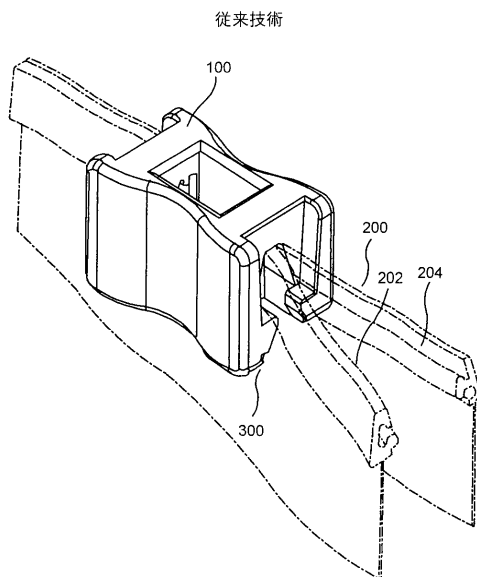
【0011】

- 10      スリーブカバー
- 12      上面
- 14, 16      側面
- 100      スライダー
- 200      ジッパー
- 202, 204      異形材

10

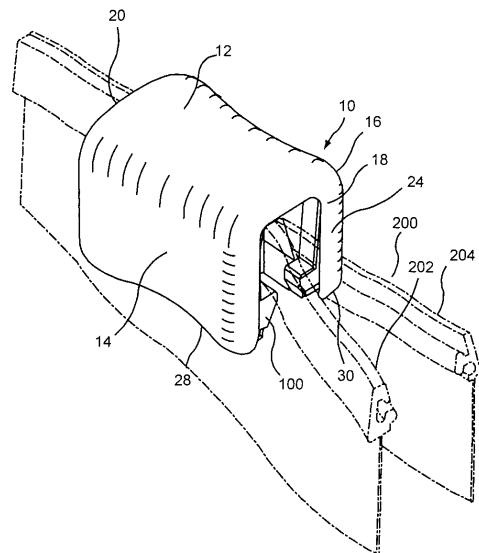
【図1】

図1



【図2】

図2



---

フロントページの続き

(74)代理人 100082898

弁理士 西山 雅也

(72)発明者 ラーズ ウィールボーク

アメリカ合衆国, コネチカット 0 6 6 1 4 - 3 2 4 3 , ストラットフォード, リッジ ロード  
1 0 7

F ターム(参考) 3B098 AA10 AB07 CA01 CB02 CC01

3E064 AA05 BA22 EA12 FA01 HM01 HN13